

## 1. カチオン

はじめにお話したいグループはカチオン（陽イオン）である：カルシウム、マグネシウム、カリウム、ナトリウムである。

### カルシウム (Ca)

特にカルシウムグループの Calc.（カルカーブ：炭酸カルシウム）と Calc-p.（カルクフォス：リン酸カルシウム）はとてもよく知られている。これらの2つのうち Calc. だけに、自分が混乱していることに他人が気づいているだろうという主な妄想があり、このことからカルシウムの最初の主要テーマが得られる。すなわち他人が自分をどのように考え、何を言うのかについての敏感さである。この敏感さは Calc-p. にはそれほど明白ではないが、これについては後ほど明らかになる。Calc-s.（カルクソーファー：硫酸カルシウム）では、評価されたいという欲求のなかにこのような繊細さが明らかに存在する。

#### 他人から何と言われるか

カルシウムは、他人から何と言われるかを常に心配する。Calc. では、これは‘他人が自分の混乱に気づくのではないかという妄想’の典型的な症状として表される。彼らはそれほど無能なわけではない。内気な Calc. の子供にも同じことが見られる：大人たちからどう思われるのだろうか？

Calc-s. では、これは評価されたいという強い欲求として現れる。そのため‘評価されないことからの深い悲しみ’という症状になる (Kent, 1983b, p.61)。彼らは、常に価値を求めており、たとえば Calc-s. の子供は母親に「私はいい子だと思う？」、「私はかわいいと思う？」と一日中尋ねる。「私っていい子？」ではなくて、「私はいい子だと思う？」と尋ねるのが特徴である。

#### 批判に対する過敏さ

他人から十分に優れていると思われたいだろうという恐怖が、批判に対

する過敏さに表れる。これがカルシウムを見分けるいちばんの特徴である。問診の際にそのことを具体的に尋ねることができる。答えは信頼ある情報源となる。どのような批判に最も敏感かを聞くことで、いろいろなカルシウムのなかから区別することができる。

カルシウムの原初の状態は、他人からあからさまに批判されたことだろう。彼らは特に公で批判されることに敏感である。彼らに言わせれば、そういったことは内輪に行われるべきだというのである。彼らの批判に対する繊細さは常にすぐにわかるというわけではない。大人になると、しばしばそれを隠すのがとてもうまい場合がある。

## 不安感

カルシウムの主な考え方は、他人からどう思われるのだろうかという恐怖であり、これは大きな不安感のテーマである。カルシウムは、自分についてひどく自信がなく、常に他人と比較しなくてはならない。しかしまたはそれをオープンに行ってはならず、内側で行われているかもしれない。

## 恐 怖

他人と自分の比較ばかりしていると、自然と多くの恐怖をもつようになる。これはなぜ Geukens (1988 年のセミナーで) が、Calc. が恐怖のための最も一般的なレメディーだと言ったのかという理由である。認められないという恐怖は、異常になる恐怖、異常な物を持つ恐怖へとつながる。また喪失への恐怖がある。病気、貧困、何か悪いことが起こるのでないかといった将来への恐怖。これらすべてが、しばしば何かが実際に起きる前のことである：先のことに対する強い恐怖。

## 防御とひきこもり

カルシウムが自分を防御するやり方は、攻撃をかわす方法で行われる。彼らはひきこもり、自分の周りに防護層を重ねる。それは盾となる堅い貝殻で、柔らかな身を隠す牡蠣のようである。彼らは自分の殻にひきこもる。この防御の方法は、受動的な特徴をもち、彼らは行動するより待つ。それは一生懸命働かないという意味ではないが、弱点については受身になる。

持続する傾向、受動的な傾向、硬くなる傾向が、部分的な症状に見られる。

#### 総体的な特徴

場所：やや左側；太っていて虚弱。

温度：冷たい、＜湿気、＜寒さ。

発汗：頭と首の後ろ。

時間：＜15時。

欲求：甘い物(2)、卵(2)。

月経：多量。筋腫。

睡眠：うつ伏せで寝る。

#### 症 状

腺の腫れ、甲状腺。

甲状腺機能低下。

DD：バリウム、Staph.（スタフフィサグリア：ヒエンソウ）

## マグネシウム (Mg)

マグネシウムのなかでも Mag-m. (マグミュー：塩化マグネシウム) と Mag-c. (マグカーブ：炭酸マグネシウム) は、最もよく知られている。Mag-p. (マグフォス：リン酸マグネシウム) も比較的よく知られている。Mag-s. (マグソーファー：硫酸マグネシウム)、Mag-f. (マグフロアー：フッ化マグネシウム)、Mag-i. (マグアイオド：ヨウ化マグネシウム)、Mag-br. (マグブロム：臭化マグネシウム) はそれほどでもない。そのなかでも Mag-m. の精神像がいちばんよく知られているだろう。しかし、マグネシウムのテーマとは何であろう？

### 平和主義

マグネシウムは攻撃を嫌う。彼らは騒動や暴力に耐えられない。Vithoulikas (1991b, p.177) は、Mag-m. をとてもうまく表している。彼らは環境保護団体グリーンピースや国際アムネスティなどのために働く。

しかし、けんかや暴力への嫌悪はすべてのマグネシウムに見られる。これはいろいろな方法で示される。まず、彼ら自身が腹を立てることが非常に難しいためである。しかしまた、すべての暴力的なことに非常に影響を受けるためでもある。彼らは暴力的な人、暴力的なテレビ番組を避けはじめるだろう。なかには西部劇さえも見ることができない人もいる。

### 攻撃性

その一方で、彼らはとても好戦的になることがある。この側面は文献ではあまり強調されていないが、Mag-c. にはこの性質があることがわかっている。この点で Cham. (カモミラ：カミツレ) と比較してみるとことが適切であろう。しかし、Mag-m. もとても攻撃的だ。Whitmont (1982, p.126) は次のように説明している：‘Magnesium (マグネシウム) は、マテリア・メディカのなかで最も暴力的で、怒りっぽく、一貫性がなく、しかし怖がりで落ち込んでいるレメディーと言っていいかもしれない’。彼は Mag-m. について詳しく語っており、躁うつ病のファーストレメディーだと述べている。

## 喪失への恐怖

さらなるマグネシウムのテーマは、友人、家族などを失う恐怖である。Mag-c. はこれを‘家族や友人から見捨てられた妄想’、Mag-m. は‘友人が1人もいない妄想’として表している。Kent は、Mag-c. を孤児のレメディーと言い表した。私の経験では、Mag-c. と Mag-m. は離婚やけんかをしている両親をもつ子供の最も重要なレメディーである。けんかは崩壊につながるため非常に強く反応する。そしてこの反応は2つに分かれる：なだめようとするか、けんかを避ける、あるいは気をそらせるために自分自身をのしりはじめるかである。

## 痛 み

また攻撃性への恐怖は、痛みに対する非常な敏感性に表れる：‘痛みから金切り声を上げる’。歯科医への大きな恐怖は、全く根拠がないわけではなく、多くの歯の問題があるためである。マグネシウムの痛みは実際にとても強くひどいので、痛みへの恐怖は無理からぬものである。

## 総体的な特徴

場所：右側；悲痛、そして年をとって見える。

温度：冷たい、＜冷たさ、＞温かいものを当てる (3)。

時間：＜7時 (2)；周期的な症状。

欲求：肉、野菜、すっきりとするもの。

嫌悪：肉、野菜、調理された食べ物 (2)。＜甘い物、脂肪。

身体：＞圧迫 (2)、二つ折れになる (2)、＜接触。

## 症 状

発作、痙攣、疝痛。神経痛。歯痛。かぜとアレルギー。

甲状腺機能亢進。血管痙攣、レイノー症候群。

肝臓と胆嚢 (3)。

前立腺。筋肉と爪。

DD：アンモニウム、酸。

## カリウム (K)

### 規律、義務

カリウムの人の最も重要な特徴は、彼らはとてもまじめであるということである。強い規律があり、独自の規則や規範をもち、それに固執する：‘約束を守る人’。そのため彼らは、とても信頼がおけ、正しく、しっかりしていて、自信がある。強い義務感をもち、まじめで責任を果たす。しかし時がたつにつれて、それは極端になることがあり、否定的な側面が現れはじめるかもしれない：厳格、独断的、道徳家、保守的、禁欲的。

自分の規律に従うために、感情のような人生の別の側面をコントロールしなくてはならない。新しく意外なことよりも、決まりきったルーチンワーク的なことを好む。陽気で芸術的な特徴はめったに見られない。このことは彼らが実質主義に見える理由なのだが、彼らは利己的というよりも実用主義で現実主義なのである。

### 閉鎖的

この抑圧は、便秘や困難な出産のような形で身体的に表現される。物をしっかり握って手放さず、閉鎖的で内気である。

こうした抑圧にもかかわらず、あるいはこうした抑圧のためにたくさんの恐怖があるが、多くの場合、これらの恐怖は胃の問題という形で身体的にだけ感じられる。また、予期せぬことがコントロールできない場合に、かなり‘びくびく神経質な’こともある。これに関連しているのは、くすぐられることに対してとても敏感なことである。くすぐられることによって笑うことで、感情に屈しなければならないが、彼らの抑圧はそれを許さない。

### 楽観主義

彼らは閉鎖的で内なる感情をたやすく人に見せない。しかしナトリウムのように憂うつではない。楽観主義だと言われることもあるだろう。彼らは、忍耐と勤勉さで達成したいことを達成するのである。

## 仕事、任務

彼らの義務感は、仕事と任務で表される。カリウムにとって、おそらく‘任務’は‘義務’よりももっとよいテーマだろう。彼らは非常に任務を重視している。とても勤勉で有能な人たちで、社会をつくる人たちである。彼らは实际的で実用主義だ。熱心に着実に働くが、やりすぎない。本当のワーカホリック（仕事中毒）ではない。

ある種の父親のようなオーラがあり、彼らが成功する職業は次のようなものである：マネージャー、警官、裁判官、通訳、簿記係など。

## 家 族

総じて彼らは非常に家庭的である。彼らにとって家族はとても大切に、彼らを養うために熱心に働く。

## 総体的な特徴

彼らは、その内面を反映するように、がっしりとした体型をしていて、太っていてたくましい。カリウムは、全体的に非常に冷たいが、それは構成元素によって違ってくる。非常に冷たいものから非常に温かいものまでの順番は、おおよそ次のとおりである：

Kali-ars.（ケーライアーセニカム：ヒ酸カリウム）、Kali-bi.（ケーライビク：重クロム酸カリウム）、Kali-c.（ケーライカーブ：炭酸カリウム）、Kali-p.（ケーライフォス：リン酸カリウム）（中間）、Kali-m.（ケーライミュー：塩化カリウム）、Kali-n.（ケーライニット：硝酸カリウム）、Kali-br.（ケーライブロム：臭化カリウム）、Kali-s.（ケーライソーファー：硫酸カリウム）、Kali-i.（ケーライアイオダム：ヨウ化カリウム）。

すき間風にとっても敏感であり、特に Kali-c. はとても敏感である。

時間の基調は特徴的である：3 時ごろに悪化。ときには 2～4 時、または 3 時から悪化〔DD：Cupr.（キュープロム：銅）、Thuj.（スーヤ：コノテガシワ）〕。Kali-ars. は 1 時により近く、Kali-s. と Kali-i. は 5 時に近い傾向がある。そのときに、以下のようなすべての症状は悪化する：不眠症、胃痛、坐骨神経痛など。

甘い物への欲求と、肉への嫌悪がある。

性交からと月経中に悪化する。

接触と活動から悪化し、動作、座る、前のめりになることから好転する。

## 症 状

非常に代表的なのは、針で縫われるような痛みで、ときどき鋭い、または引っ張られるような痛みである。

分泌物は多量、たいてい濃厚で（Kali-n. は薄い）、粘着性が強いこともあり（Kali-bi.）、黄色から黄緑色をしている。後の段階では、衰弱や貧血が起こることがある。

いたるところに浮腫があり、特に足首や脛のあたりが多く、上脛のまんなかの腫れという最も特徴的な症状を伴う。

すべてのカリウムでかぜと副鼻腔炎が起こり、たいてい多量の分泌物を伴う。

喘息は、＜3時、＞座る、＜横になる。

胸膜に、針で縫われるような痛みを伴う肺炎。

心臓疾患、単なる動悸と高血圧から、動脈硬化や（突然の）心臓発作まで。心臓が突然音をあげるまで、すべての感情は内に閉じ込められる。

カリウムは、多くの胃の症状がある。彼らの胃はとても敏感で、胃痛や胃潰瘍になりやすい。典型的なプロセスは、恐怖を胃へ伝えるというもので、特に Kali-c. がそれを行う。太陽神経叢のすべての領域がとても敏感になる。

便秘。

しばしば月経は多量で、早くきたり遅くなったりする。多量で、なめらかで、黄色い帯下があることもある。

多くのリウマチ疾患がある：変形性の関節の炎症、特に腰と膝。

カリウムは、しばしば坐骨神経痛を伴う腰痛に必要とされる。坐骨神経痛は、＜圧迫、＜痛いほうを下にして横たわる、＜月経。

DD：ナトリウム。



## ナトリウム (Na)

ナトリウムグループでは、Nat-m. (ネイチュミュー：塩化ナトリウム) がよく知られている。知られすぎているといえるであろう。多くのホメオパスは自分自身もそれを飲んでいて、そのほとんどは成功していない。それは、このレメディーはよい評判ができているからである：Nat-m. は敏感な、または控えめな、聞き上手である。

私はこの評判は正当ではないと思う。少なくとも、私は信じられないほど扱いにくく気難しい何人かの Nat-m. の患者を診てきた。私自身は多くのケースで、おそらく多すぎるほどに Nat-m. を処方してきた。悲しみや、いくつかのキーノートを見つけてそれでおしまいである。それでは多くの場合において効果はない。ある患者で、私は彼女にそれが必要だと確信し、4 か月間 Nat-m. に固執したが、彼女は私についてきてはくれなかった。なぜなら何も変化しなかったし、改善もされなかったからである。

### 深い悲しみ、うつ、悲観

ナトリウムの本質的な特徴は何だろう？ はじめに、Morrison (1988, p.20) によれば、深い悲しみである。彼らは失ったものについて多くの深い悲しみがある。彼らはふさぎこみ、憂うつで、悲観している。物事は決してまた正常にならない。すべてが申し分なかった過去に執着する。思考は常に当時にさかのぼる。ときどきそのことで泣くこともあるが、それを見せることはない。

### 閉鎖的、孤独

彼らは問題を心のなかにしまっておき、非常に閉鎖的で、それについて話したいと思わない。一人でいる、悲しみを一人で背負わなくてはならないと感じている。実際に外からの助けを期待できないし、どんな助けも、ましてや外からの助けなど期待できない。憂うつな状態で自分の運命を受け入れなくてはならない。ひきこもって、自分の喪失感や悲しみに集中する。秘めた深い悲しみをもち、それを外の世界から隠している。

## 制限、否定、禁止

物事が再び申し分ないものになると信じるのが全くできなくなっている。彼らの喪失はこれ以上起こりようがない。失ったものを回復するのに、少しの努力もしようとしな。幸福を取り戻す可能性を否定し、無抵抗に受け入れるように自分を制限する。また幸せになることが禁じられているという感覚や、幸せを経験するのを許されていないという感覚がある。そのため彼らは非常に悲観的な人になることがある。

## 敏感な

彼らは非常に敏感で非常に傷つきやすい。すでに多くを奪われていて、もうほとんど何も残っていない。残っているものも奪われてしまうだろうという感覚を常にもっている。そのために彼らはすぐに驚く：全く予想しないことにさらに傷つけられるかもしれないからである。

また音楽に対しても過敏で、特に静かなクラシック音楽に対してそうである。この音楽によって、憂うつな雰囲気に入ることもなる。

## 保 持

彼らはひきこもる傾向にある。そして本質的なものから自分を制限するだろう。しかしそれをしっかり保持したいと思う。そのため彼らはある物や記憶、たいていは遠い過去の記憶に固執するようになる。

## 総体的な特徴

体格：やせている。

温度：温かい、＜太陽、＜＞海。

時間：＜ 11 時。

欲求：塩、デンプン。

嫌悪：塩、＜牛乳、デンプン。

全体：＜左側を下にして横になる。

## 症 状

頭痛、＜太陽。

DD：アンモニウム、カリウム。